

5 特定施設等届出状況

騒音規制法・振動規制法では、国民の生活環境を保全するため、指定地域内における工場及び事業場に設置される施設並びに建設工事に伴い、相当範囲にわたる騒音、振動を発生させる施設の設置、又は、作業を実施する際に届出が義務付けられている。

香取市環境保全条例でも同様に、市民の生活環境を保全するため、工場及び事業場における事業活動並びに建設工事に伴い、相当範囲にわたる騒音、振動を発生させる施設を設置、又は、作業を実施する際に届出を義務付けている。

平成24年度における各種届出状況は次のとおりである。

5-1 特定施設等の届出

騒音振動施設の6件の届出があり、騒音規制法によるものが2件あった。

又、悪臭施設の届出が2件あった。

その他、施設の継承届が1件と廃止届が1件あった。

5-2 特定建設作業の届出

条例によるものが75件で、作業の種類は、掘削機(バックホウ)、削岩機、油圧ブレーカー、くい打機、インパクトレンチなどを使用する作業であった。

また、振動規制法によるものが23件で、作業の種類は削岩機、油圧ブレーカー、くい打機を使用する作業であった。

5-3 特定作業の届出

条例によるものが2件あった。

以上が、平成24年度における特定施設等の届出状況であるが、特定建設作業の届出については、未だ小規模、或いは短期的な工事について届出漏れが見られる。今後も建設工事の監視強化と事業者に対しては届出意識の向上を求めていく必要がある。

今後も事業者・工事業者・発注者に対し、届出を促すとともに届出者に対しても、基準の遵守はもちろん、騒音・振動の防止対策を徹底するよう指導しなければならない。また、極力低騒音型建設機械等の使用や環境に配慮した工法の採用等の普及促進に努めていきたい。